

平成15年度第5回岐阜県事業評価監視委員会議事概要書

平成15年8月28日(木)

13:15~16:15

全県総連厚生会館(5階大会議室)





開会の挨拶 (宇野工事検査室長)

議 事

- 1 議事概要書署名委員の指名
 - ・委員長より、岡田委員、川島委員、水野委員を署名委員として指名。
- 2 再評価実施個所の詳細説明及び審議について

道路事業全体の概要について

- ・説明者 田中 道路建設課長
- 〈審議内容〉
特になし

① 道路事業〔道路建設課所管分〕

- ・再評価箇所 道路改築事業 (国道303号)
道路改築事業 (国道257号)
道路改築事業 (国道248号) (多治見市大畑町・平和町)
道路改築事業 (国道248号) (美濃加茂市御門町～関市西田原)

- ・説明者 田中 道路建設課長
- 〈審議内容〉

Q) 303号で工事区間で厳しい区間は何処ですか。

A) 現在の残工事区間です。

意見) 坂内村においては、バイパスの完成により基幹道路が確保されて、物資などが入ってきて重要な道路となりますね。

Q) 残区間2.7kmにトンネル計画はありますか。

A) 約800mのトンネル計画があります。

Q) 248号の多治見平和バイパスについては、トンネル案以外に検討しましたか。

A) 経済比較検討や環境面を考慮した検討をしております。また、計画区域に住宅団地があり、団地に影響がもっとも少ないトンネル案としました。

〈審議結果〉

道路改築事業 (国道303号)、道路改築事業 (国道257号)、道路改築事業 (国道248号) (多治見市大畑町・平和町)、道路改築事業 (国道248号) (美濃加茂市御門町～関市西田原)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針を了承する。

② 道路事業 [道路建設課所管分]

- ・再評価箇所 道路改築事業(国道248号)
(関市西田原・倉知)
- ・説明者 田中 道路建設課長

〈審議内容〉

- Q) 道路が完成すると国道156号に接続するようだが、国道156号は恒常的に渋滞している。配慮はされていますか。
- A) 接続先は岐阜東バイパスであり、これが完成すれば国道156号への影響は少ないと考えている。

〈審議結果〉

道路改築事業(国道248号)(関市西田原・倉知)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針を了承する。

③ 砂防事業 [砂防課所管分]

- ・再評価箇所 公共地すべり対策事業(南垣外)(瑞浪市)
- ・説明者 小川 砂防課長

〈審議内容〉

- Q) 事業区域に送電鉄塔が2基あるが、転倒のおそれはないか。
- A) 転倒すると、多大な被害が予想される。また、鉄塔の移転にも相当の費用が必要です。よって、対策工により地すべり自体を抑える方法を採用しています。

意見) 説明にあった大深度のボーリングは、県内の他の箇所でも行っているか。この技術は、多方面で活用することにより経済効果も生み出す技術なので推進してほしい。

- Q) 地すべりは、自然環境の変化によって起こったのか。
- A) 岐阜県においては、東濃地域に集中しており、地質や土質に起因し地下水がすべりを誘発している。自然環境への配慮としては法面を、緑化するなど対策を行っています。
- Q) 多治見地区は、東海地震の強化区域に指定されていますが、大深度集水井において、地震を考慮していますか。
- A) 集水ボーリングについては、目地・ジョイントに可とう性はありますが、断層破断等までは考慮されていないので、今後検討していきます。
- Q) 地すべり範囲の用地買収を最小限としているが地すべりを起こしているようなことはありませんか。
- A) 地すべり事業においては、法面や構造物について、必要な部分において適正に買収しています。また、頭部排土部分などの平場は買収しておりません。
- Q) コスト縮減に橋梁計画をBOXカルバートに変更する例が多くありますが、その理由と岐阜県はBOXカルバートの方が多いいのですか。
- A) 全てにおいて、BOXカルバートを採用しているわけではなく、流出する土砂や、河川の流量から総合的に判断して決めています。また、基本的には橋梁形式です。

〈審議結果〉

公共地すべり対策事業(南垣外)(瑞浪市)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針を了承する。

④ 都市整備事業 [都市整備課所管分]

- ・再評価箇所 岐阜駅周辺連続立体交差事業（名鉄名古屋本線）
- ・説明者 堀 都市整備課長

〈審議内容〉

Q) 岐阜駅周辺と言う事業名でありながら、茶所駅と加納駅の統合事業が中心のようだ。名鉄新岐阜駅とJR岐阜駅の関係はどうか。

A) 新岐阜駅とJR岐阜駅を連絡するは、かねてより検討中です。岐阜市の岐阜駅北口広場整備事業で実施することになっている。

意見) 名鉄の加納・茶所統合駅には地下駐車場を最初から作った方がよい。

JRと新岐阜駅の接合については、大深度の地下でつなぐなどの検討もしたほうがよい。名鉄を長良川右岸まで延長するなども必要である。

Q) 地域の方はJRと名鉄をまとめることについてどう思っていますか。

A) JRの高架事業時を含めて、多くの意見がありましたが、分離案でまっています。

Q) 利用者の意見を発言する場はあるのでしょうか？住民参画型としていますが、利用者の視点がないのではないか？

A) 各方面の意見を聞いて、慎重に進めています。また、JRと名鉄間の利用者に対する配慮については、岐阜市が事業主体となって、利便性の良い街作りを進めております。

意見) この辺りは「開かずの踏切」で事故も多発しています。沿線住民の長年の悲願であるので是非早期に実現してほしい。

〈審議結果〉

岐阜駅周辺連続立体交差事業（名鉄名古屋本線）の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針を了承する。

⑤ 農地整備事業 [農地整備室所管分]

- ・再評価箇所 県営かんがい排水事業（宇留生）（大垣市）
- ・説明者 馬場 農地整備室長

〈審議内容〉

Q) 事業を施行する箇所は住宅地内ですか。

A) 杭瀬川の取水箇所から農地までの間において一部住宅地を通る。

Q) 用水の改良を行っても良好な自然環境を保てますか。

A) 現況は、流速の早い3面水路になっている。パイプライン化する区間については流水がなくならないように、若干の水量を流して水辺の確保のため「せせらぎ」を再生します。

〈審議結果〉

県営かんがい排水事業（宇留生）（大垣市）の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針を了承する。

⑥ 農地整備事業 [農地整備室所管分]

- ・再評価箇所 経営体育成基盤整備事業（羽島中部）
- ・説明者 馬場 農地整備室長

〈審議内容〉

Q) 事業費の負担割合を教えてください。

A) 国費50、県費27.5、市費22.5です。

Q) 事業費の返済はどのようになっていますか。

- A) 国、県の補助金と市の財源で行っており、事業費の返済はありません。
- Q) 国の補助金に継ぎ足す県費は。
- A) 県が実施を決めた事業について国から補助を頂く順序になっている。
- Q) 受益者1人に対して1千万円もの投資額で個人負担なしとしているが、国、県の公費負担と便益の中身を吟味する必要があるのではないか。
- A) 農道や排水路整備は地域全体のインフラ整備であり、市が負担している。ご指摘の点については、研究します。

〈審議結果〉

経営体育成基盤整備事業（羽島中部）の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針を了承する。

⑦ 農地整備事業〔農地整備室所管分〕

- ・再評価箇所 県営中山間地域総合農地防災事業（大久手）（中津川市）
- ・説明者 馬場 農地整備室長

〈審議内容〉

特になし

〈審議結果〉

県営中山間地域総合農地防災事業（大久手）（中津川市）の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針を了承する。

閉会の挨拶 （安田建設評価企画監）